

第2学年 生活科学学習指導

令和5年1月27日（金） 5校時

2年1組 今岡 駿

4組 牧野 彩海

1 単元名 「あしたへジャンプ」

2 単元の目標

自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。
思考力・判断力・表現力	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。
学びに向かう力・人間性	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

4 単元について

本単元は、生活科学学習指導要領の内容（9）「自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。」を受けて設定したものである。

本校第2学年の児童は、自分たちの成長を客観的に捉えることは難しく、できるようになったことを列挙することも時間がかかる児童が複数名いた。本単元の学習を通して、保護者にインタビューをしたり、友達とよいところを見つけ合ったりすることで、イメージマップを広げ、主観的・客観的に自身の成長を捉えることができるようになってほしいと考えている。また、活動を通して内面的な成長や自分を支えてくれた人達の存在に気付き、感謝する気持ちももてるようにし、本単元の最後の学習で、保護者への感謝を伝え、自身の更なる成長への期待を高めさせていきたい。

5 指導計画（全23時間 本時5時間目）

		ねらい	○学習活動□めあて（児童発案のため仮）	◎指導・支援 □評価 <>思考チャート
大きくなった自分のことをふりかえろう②	1	過去と現在の自分を比較しながら、自分の成長を振り返る中で、できるようになったことや大きくなったことに気づき、さらに自分のことを調べようとするができるようになる。	○写真や動画、記録カードなどをもとに、入学してからのできごとを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">入学してからのできごとをふりかえろう。</div>	◎資料の提示を時系列で行い、自らの変化を捉えやすくする。 ◎できごとをイメージマップで広げ、多くの出来事があったことに気付かせる。 <イメージマップ> 態度 成長したことをさらに調べたいという思いをもっている。
	2		○入学してからのできごとを参考に、できるようになったことを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自分ができるようになったことを見つけよう。</div>	◎できるようになったことを、それぞれでイメージマップを用いて広げていく。 <イメージマップ> 知・技 自分でできるようになったことや大きくなったことに気付いている。
大きくなった自分のことをしらべよう③	3	自分のことを知りたいという思いをもち、振り返ったことや調べたことをつなぎ合わせて、自分の成長を調べる中で、内面の成長に気付くことができるようにする。	○前時に作成したイメージマップを基に、インタビューの計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">インタビューのけいかくを立てよう。</div>	◎「誰に」「どういう方法で」尋ねるのかを確認する。 態度 もっと知りたいという思いをもち、身近な人に聞いて調べようとしている。 知・技 優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付いている。
	4		○友達の「すごい」ところや、「ありがとう」と思ったことを見つけカードに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">友だちのすてきなところを見つけ、伝えよう。</div>	◎思いつかない児童には、友達の良さを提示する。 知・技 友達のよさに気づき、伝えている。

	5 (本時)		<p>○友達からもらったカードやインタビューなどを手がかりに、できるようになったことをさらに見付ける。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">できるようになったことを、もっと見つけよう。</p>	<p>◎グループで話し合ったことを紹介し合い、児童の発言やつぶやきなどから、「自分のことをまとめたい」という思いを引き出す。</p> <p>思・判・表振り返ったことや周囲の人から聞いたことから、自分の成長について話している。</p> <p><イメージマップ></p>
自分のことをまとめよう⑨	6	自分の成長についてまとめたいという思いをもち、一番かきたいことを選び出して作品に表す中で、自分自身のよさや可能性に気付くことができるようにする。	<p>○前時までに調べたことを基に、どんな出来事をどんな方法でまとめるのか、決める。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">まとめるほうほうをきめよう。</p>	<p>◎どの児童がどの方法でまとめるのか、挙手などにより全員について把握しておく。</p> <p>態度自分の成長についてまとめたいという思いをもち、適切な方法で作品をつくらうとしている。</p>
	7 1 2		<p>○資料や材料を集め、方法を工夫しながら、自分の成長をまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大きくなった自分のことをまとめよう。</p>	<p>◎児童は、友達との交流を通して、別の出来事を思い出したり、新たなアイデアが浮かんだりすることもある。児童の変容や気付きのよさを認めたりほめたりして、児童の意欲を高めるとともに、気付きの質を高めるようにする。</p> <p>思・判・表自分の成長について気付いたことの中から、一番かきたいことを選び出し、作品に表している。</p>
	1 3 1 4		<p>○つくった作品を友達と紹介し合い、まとめたことを振り返る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">つくった作ひんを友だちにしようかいしよう。</p>	<p>◎振り返りでは、児童の発言やつぶやきなどから、成長を支えてくれた人々の存在への気付きや、「ありがとうの気持ちを伝えたい」という思いや願いを引き出し、次時の学習活動の見通しを確認する。</p> <p>知・技自分自身のよさや可能性に気付いている。</p>

<p>ありがとうの気持ちをつたえよう⑨</p>	15 ～ 16	<p>周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、周囲の人々に感謝の気持ちを伝える中で、自分はたくさんの人に支えられて成長していることに気付き、3年生でも意欲的に生活しようとする事ができるようにする。</p>	<p>○感謝の気持ちを伝えたい人を決め、発表会の準備をする。</p> <p>ありがとうの気持ちをだれにつたえたいかきめよう。</p>	<p>◎児童が自分で考え、決定できるように、「誰に」「成長した自分のどんな姿を」「どのように」伝えたいか話し合う場を設ける。</p> <p>態度 これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもっている。</p>
	17 ～ 18		<p>○発表の準備をする。</p> <p>はっぴょうのじゅんぴをしよう。</p>	<p>◎板書を使い、発表の準備に必要なことを整理し、可視化する。</p> <p>知・技 自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いている。</p>
	19 ～ 20		<p>○発表会を開く。</p> <p>「ありがとう」をつたえる会をしよう。</p>	<p>◎保護者等の参観ができないため、クラスで発表会を開いた様子をそれぞれのタブレットで録画させる。その動画を伝えたい人に見せるように伝える。</p> <p>思・判・表 周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを話している。</p>
	21 ～ 22		<p>○3年生の教室を見せてもらったりインタビューしたりして、3年生の様子を知る。</p> <p>3年生のようすをしらべよう。</p>	<p>◎3年生の学習や生活の様子を見たりインタビューしたりして、3年生になった自分をイメージし、これからの生活への意欲や期待感、自分なりの目標をもつようにする。</p> <p>思・判・表 3年生になったらできるようになりたいことを考えている。</p>
	23		<p>○発表会を振り返り、話し合う。</p> <p>はっぴょう会をふりかえろう。</p>	<p>◎児童の作品や発表を見た感想を保護者に書いてもらっておく。</p> <p>◎保護者の感想を読み、発表会を終えた今の気持ちを振り返り、なぜその気持ちになっているか伝え合う場を設ける。</p> <p>◎児童の発言やつぶやきなどを板書に整理し、まとめる。</p> <p>態度 これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも意欲的に生活しようとしている。</p>

6 思考ツール

- ・イメージマップ

○身につけたい思考スキル

- ・広げる
- ・関連付ける

今回の思考ツールに関する課題・疑問点

今回の思考ツールが有効だったと思う点

7 本時の指導（ 5 / 23 ）

(1) ねらい 自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ、自分の成長について話したり書いたりする。

(2) 展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価
導入 (5分)	① 前時の振り返りを行う。 ② 本時のめあてをつくる。	◇前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 ◇前時に作成した思考ツール「イメージマップ」の内容を確認する。 ◇子どもと話し合っめあてが決められるように、前時の板書を見る。
展開 (40分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> (仮) できるようになったことを、もっと見つけよう。 </div> ③ イメージマップの用紙を大きな紙に貼り付け、 <u>ビッグイメージマップ</u> (子どもと名前を決める) にする。 ④ イメージマップをさらに広げる。 ⑤ 自分の成長について気付いたこと・感じたことを文章に書く。(ワークシート) ⑥ 気付いたことや感じたことを友達に伝える。(ペア→全体)	◇のりを使うのが苦手な児童を支援する。 ◇イメージマップに、インタビュー資料等を貼り付け、自分のできるようになったことを線でつなげる。 ◇さらに広げたい部分を、書き足す。 ◇自分のどんなところが成長したか、イメージマップを参考にして書くよう言葉を掛ける。 ◇気付いたことを書くのが苦手な児童には、個別に言葉掛けし、配慮する。 ◇まとめたことを発表する。 ◇全体発表では意図的指名をし、内面の成長に気付かせる。 ◇発表を聞いて、さらに気付いたことをワークシートに書く。 ☆自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ、自分の成長について話したり書いたりしている。(思・判・表)
まとめ (5分)	⑦ 次時の見通しをもつ。	◇児童から次時に向けて取り組みたいことを引き出し、板書することで、見通しを持たせる。